

地元産石材を使用した特徴ある石積みアーチ橋

伝えたい千葉の産業技術 100 選

登録番号	第051号
名称(型式等)	汐止橋
所在地	千葉県安房郡鋸南町元名字平田
設立(竣工)年	明治28(1895)年

選定理由

汐止橋は、鋸南町を流れる2級河川、元名川に架かる石積み上路アーチ橋(町道1-102号線)です。明治28(1895)年に架設されました。親柱には「汐止橋」、「明治廿八年三月」の文字が刻まれています。

橋長は13.4m、幅員は3.9m、アーチは一つで、美しい円弧を描いています。壁石の積み方に特徴があり、布積みの切石は水平ではなく、アーチに向かって斜めに扇が広がるような積み方をしています。煉瓦でいうフランス積みのように長手と小口を組み合わせしており、個々の石の厚みを調整して積んだような箇所も見られます。アーチリング(輪石)の内側1段は小口の面で組んでいます、上部3段には石の長い面が使われ、アーチに沿ってわずかに曲線を描くように石を加工するなど、石積みの技術的レベルの高さとともに、意匠的にも高い評価を得ています。

使用している石は、鋸山とその周辺で採掘された地元産の「房州石」です。「房州石」は凝灰岩質砂岩や礫質砂岩からなり、白色の軽石と暗色のスコリア(多孔質の塊)による独特の美しい堆積模様を見ることができます。成形しやすく耐火性があるので、江戸末期から明治にかけて盛んに塀や門柱などの建築石材に利用されました。平成30(2018)年に、一般社団法人日本地質学会により千葉県の「県の石」に選定されています。

汐止橋は、平成28(2016)年度の鋸南町による定期点検で、判定区分Ⅰの“健全”(構造物の機能に支障が生じていない状態)と診断されており、現在も生活道路として利用されています。平成21(2009)年度には、公益財団法人土木学会の選奨土木遺産に認定されました。



写真1: 汐止橋全景(下流側より)



写真2: アーチリングの石積み



写真3: 親柱

協力: 鋸南町建設水道課